

第3回日立市新庁舎建設市民懇談会会議録

1. 開催日時 平成24年6月22日（金） 午後1時30分～午後3時40分

2. 開催場所 日立市役所 議会第1・第2会議室

3. 出席者

(1) 新庁舎建設市民懇話会委員

小柳委員（会長）、富樫委員（副会長）、秋山委員、有賀委員、金子委員、小室委員、佐々木委員、佐藤委員、志賀委員、柴田委員、白土委員、館岡委員、沼田委員、橋本委員 以上14名

(2) 事務局

梶山総務部長、（庁舎建設準備室）岡部室長、佐藤室長補佐、助川係長、田村係長 以上5名

(3) 傍聴者

読売新聞、朝日新聞、日刊建設工業新聞、NHK、JWAY 以上5者

4. 会議資料

(1) 会議次第

(2) 第3回 新庁舎建設市民懇話会資料

5. 会議内容

会長：前回視察したつくば市庁舎は、敷地規模がかなり違うものの、取り入れるべき機能は認識できたと思う。本日の進め方は、3つの機能に関して、3回に分けて議論したい。

事務局：（「災害に備える防災拠点機能」について説明）

会長：まず、耐震性能に関する意見をいただきたい。事務局案は、免震構造で進めたいとのことであるが。

委員：免震構造である消防本部で震災を経験しているので、免震構造を基本にするべきだと思う。

委員：賛成である。消防本部は被害がほとんどなかったが、県庁は耐震構造であったため、建物内部が大変であったと聞いている。立川市は（免震構造の）地下を駐車場にしているようだが、日立では備蓄倉庫をつくるべきではないか。また、県庁の災害対策室は使い勝手が良いので、最初からこのようなものをつくった方が良い。さらに、都庁の対策本部のように、被災地の状況を映せるような設備があれば良い。

会長：免震構造が良いとの意見が多いが、これで異論はないか。（「なし」との声あり。）

委員：建物の構造の話から始まったが、その前に、近年の雨量が異常であることから、新庁舎の後ろを流れている川からの冠水の心配はないのか。

事務局：庁舎建設に伴い、雨量計算に基づく河川の改修についても予定している。

委員：市役所の海拔は何メートルなのか。津波の心配はないのか。

事務局：海拔4.2mであり、津波の心配はない。また、地盤についても、現在ボーリング調査中であるが、予想より固い地盤であるので、参考までに報告する。

会長：地下の活用について意見はないか。

委員：つくば市とは土地の状況が異なるので、日立では（敷地が狭いので）地下駐車場を考える必要があるのではないか。また、液状化対策も含めて検討をお願いしたい。

事務局：数沢川は昭和20年代に作られた河川で、老朽化しているため、今回、新庁舎と一体的な改修を行っていききたい。

委員：免震構造にも耐用年数はあるのか。

事務局：正確な年数については難しいが、免震装置を取り替える時期はある。

委員：取り替えるのでは、工事期間などもあるので、地下駐車場は難しくなるのか。車椅子利用者にとって、雨天時などに地下駐車場はありがたい。

事務局：地下駐車場の利用を妨げるような工事ではないと考えている。

会長：免震構造の耐用年数について、情報が入ったら教えてほしい。

事務局：明確ではないが、20～30年以上のスパンではないかと思う。

委員：免震構造のゴムは進化しており、RC造は耐用年数50年と言われているが、ほとんど変わらない。免震構造は、地震に対してすばらしい構造であり、新しい構造を取り入れるべきである。

会長：では、耐震性能については免震構造を取り入れることと、地下駐車場や備蓄倉庫としての活用を検討するというところでよいか。

委員：震災の時に電気がストップしたが、太陽光パネル等の設置によってエネルギーを備蓄するなどの考えについてはどうか。

事務局：その件に関しては、次回の懇話会において、環境のテーマの中で説明したいと考えている。

会長：災害対策本部についてのご意見をお聞きしたい。つくば市には防災会議室があったが、災害対策本部とは違うものか。

事務局：おそらく、つくば市の場合は、震災前に設計を行っているため、専用スペースではなく、会議室対応なのではないかと思う。

委員：昨年の震災を経験し、専用の対策本部室は絶対に必要であると思う。何もない別用途の使用すればよい。震災後の復旧復興に関する事務や通常事務を並行して行えるようにすることが大事である。

委員：同感です。日立市は震災を経験してからつくるのであるから、つくば市より良い対

策室をつくらなければならない。

委員：専用にしてしまうともったいないので、部屋を仕切れるようにして、研修など多目的に使えるように配慮しても良いのではないかな。

事務局：県庁は専用であるが、効率的な活用も考えていきたい。

委員：県庁も会議等で使用しているので、多目的な利用をしたらよいのではないかな。

副会長：対策本部は24時間の対応が必要なので、宿泊機能も備えた方がよい。また、陸の孤島に対応するには、空からの対応も必要なので、ヘリポートの設置も必要ではないかな。

事務局：災害時は、昼夜を問わず対応するため、たくさんのスペースは必要ないが、仮眠室についても対応したい。別な用途に利用することもできる。また、ヘリポートについては、たまたま消防本部にあるので、場合によってはそちらを活用したい。現在の庁舎敷地では、ヘリポートの空間を確保するのは難しいと考えている。

会長：それでは、専用の対策本部室を設置し、多目的な利用を検討すること、夜間利用の為に仮眠室を設置すること、ヘリポートの件についても頭に入れて置くということではないかな。

委員：ライフラインの対応だが、水の件についてお聞きしたい。震災時は、飲み水はもちろんだが、トイレについては大変困った。下水道が機能していたので、水を流せばトイレが使えたのはすばらしいが、問題は水である。雨水などの中水利用の設備があればよいと思う。つくば市の雨水貯水槽は参考になる。また、つくば市のトイレはすべて自動水栓であったが、災害時の対応としては手動も取り入れてほしい。

事務局：雨水貯水槽や井戸の掘削による生活水の確保は必要と考えている。また、震災の教訓を踏まえて、バックアップ機能として、消防本部に燃料用の備蓄タンクを設置することとしている。これは災害活動用の燃料であるが、本庁においても非常電源用の燃料の備蓄などを考えている。

委員：消防拠点と庁舎との備蓄機能が重複するのではないかな。

事務局：消防本部の備蓄は救急活動用で、本庁の備蓄は、公用車や非常電源用の燃料と考えている。今回は想定外の燃料不足が生じたため、施設ごとの備蓄が必要であると判断している。

会長：では、水の確保やトイレの手洗い、燃料等の備蓄についても検討するということがよいかな。

事務局：（「便利で使用しやすい庁舎機能」について説明）

会長：庁舎を一体化することについては異論が無いと思う。具体的に、どのようなものを集約したらよいか、意見を出していただきたい。

委員：どのスペースにどのような機能があれば良いのか、我々はよく分からない。来庁者のことを考えた、モデル的なデザインはないのかな。

事務局：市民課や福祉部門など、市民が多く訪れる部署については、1、2階の低層階に

配置することを想定している。また、西尾市などは、この1・2階の一体化を図るためにエスカレーターを設置している。さらに、業務の観点からは、1つの部が同じフロアの方が効率がよい。したがって、市民の利用を第1段階で考え、次に業務の効率性を考えた配置になると思う。ただし、これまでに視察を行ってきた中では、様々な状況により、必ずしもそうならない事例も見受けられる。

委員：庁舎が5つあること自体が異常で、一体化はメリットが大きい。駐車場も大きくできるのではないか。また、公共交通機関の配置や駐車場の屋根にも配慮してほしい。

会長：資料には、教育プラザと企業局も書いてあるが、新庁舎では一緒になるのか。

事務局：そのように考えている。

委員：立体駐車場の考え方はあるのか。

事務局：駐車場の利用台数を考えると、現在でもそれほど不足はしていない。新庁舎では、さらに広い駐車場面積を確保できるので、利用状況を見ながら考えていきたい。

委員：高齢者や障害者の駐車スペースは、広く確保する必要がある。また、子どもを連れてた母親にやさしい駐車場を検討してほしい。

委員：1階と2階のつながりについて、つくば市は広い階段やエレベーターがあつてよいと感じた。エスカレーターは、お金がかかると聞いている。妹島氏が設計した金沢21世紀美術館には、地下と1階をつなぐ、全面ガラスの開放的なリフトが設置されていた。エレベーターは上部に設備がたくさんあるが、リフトならそれほど金額もかからないのではないか。

事務局：1階と2階の動線については、どのような移動手段がよいのか検討している段階である。ランニングコストを考えた場合、人の動線を考えた場合、それぞれメリット、デメリットがあるので、今後、詳細に検討していきたい。

委員：つくば市のエレベーターは、中が見えるもので、わかりやすく良かったと思う。また、1階にいても、2階のカウンターの様子分かるようになっていた。

委員：エレベーターとエスカレーターを使う話が前提になっているが、例えば、車椅子の方が、非常時にスロープで降りられるようなスペースはつくれないのか。

会長：緊急時の対応は大切である。

委員：水戸の植物園のギャラリーは、階段とスロープが一体化しており、災害時に利用できるようになっている。今は、非常階段ではなく、非常スロープという考え方も出てきている。

会長：移動の選択肢として、エレベーター、エスカレーター、リフト、スロープ等の意見が出たが、よく検討していただきたい。駐車場についても、立体や地下などの意見が出たので、必要な駐車場は確保しながら、十分に考えていただきたい。

会長：では、次に案内・窓口・相談機能についてご意見をいただきたい。

委員：直感的に理解できる色やサインも良いが、それを職員が理解していることが重要。色やサインを全ての市民が理解できるわけではないので、最終的には、市の職員の対応

がベースとなる。その上でわかりやすいサインとする必要がある。

委員：市役所を一体化するのであれば、全体がわかる案内板が必要である。

委員：案内板は、ボタンを押せば行き先が表示されるような、分かりやすいものを導入してはどうか。

委員：日立駅は音声案内がある。つくば市の1階には、点字機能の案内板があり、掲示が高くして全部は読めなかったが、良かったと感じた。また、トイレのサインが一番大切だと思う。つくば市の女性トイレのサインはわかりやすかったが、男性トイレはわかりづらかった。特にトイレと子どもにやさしいことがユニバーサルデザインだと思う。

事務局：音声案内は、市内では日立駅と十王駅以外には設置されていないのではないかと
思う。これらは、交通バリアフリーの観点から設置されていると考えられる。必要性について
は十分に検討していきたい。

委員：例えば、納税課等のサインは感情を静める色彩にするとか、福祉課は子どもの情緒
面を揺さぶらないような色彩にするなど、色彩計画も検討してみてはどうか。

委員：つくば市は、椅子の背面など、目線が低い位置に案内表示があったので、参考にな
るのではないか。

委員：つくば市は、2階には点字ブロックがあまりなかったように思う。入口から点字ブ
ロックで1階の総合案内に誘導され、そこから職員が案内してくれる方法であったが、
日立市では庁舎の案内をどのように考えているのか。

事務局：総合案内までは点字ブロックで誘導して、後は職員が案内する方法と、1階と2
階の低層階は、全て点字ブロックで案内する方法との、2つの方法があると思うが、ど
ちらが良いのか判断が難しく、御意見をいただきたい。

委員：点字ブロックは、車椅子にはバリアになってしまうので、あえてそこを避けて通ら
なければならない。つくば市は通路が広いため、点字ブロックがあってもあまり気にな
らないが、屋外の点字ブロックは、景観的な問題だと思うが、地面の色と統一されてい
たのでわかりづらい。良く見えないので、間違えて車椅子でのぼってしまう可能性があ
る。

委員：点字ブロックは、道路のセンターラインと同じように、歩行の目安になるものだと
思う。高齢者も目安にしている人は多いのではないか。

事務局：通路を広くとって、両方が共存できるようなスペースの確保について検討してい
きたい。

委員：東海村役場は、点字ブロックのある入口と無い入口の2つに分けている。

会長：これまでの意見をまとめると、色彩計画を意識したサインとする、トイレのサイン
と動線に配慮し、案内板も工夫するということがよいか。

副会長：手洗いなどは、余裕があれば子供用の洗面台を設置してほしい。また、余裕がな
ければ、台を置くなどの配慮をしてほしい。

委員：現庁舎の多目的トイレは、数年前にオストメイトが設置されたことで、逆に私は使

えなくなってしまった。制度的には問題ないが、構造的には使えないトイレである。新庁舎でユニバーサルデザインを導入するのであれば、制度面だけでなく構造面にも配慮してほしい。また、資料にある西尾市の「だれでもトイレ案内板」は、トイレの中がわかって非常に良い。残念ながら、公共施設のトイレは使いづらい。民間の施設の方が使いやすい、というのが現状。

事務局：（「柔軟で効率的な執務機能」について説明）

会長：業務のことなので、実際に携わっている職員の方がよく存じていると思うが、意見を出していただきたいと思う。

委員：フリーアクセスフロアを導入すると思うが、深さをしっかりと検討してほしい。また、床材についても、つくば市でも話があったように、車椅子の方や掃除等のメンテナンスなどをよく考えて検討願いたい。

委員：事務室のスペースの問題で、管理職等が座る位置はどう考えているのか。

事務局：現在は、古い体質の座り方になっている。組織のあり方とも関係しており、部課制ではなく、グループ制等になれば、変わってくるかと思う。庁内の検討会議の中で、事務の効率化も含めて議論したいと思う。

委員：開かれた議会、そして議員の活動情報の公開等については、設備面を含めて、どのような工夫を取り入れていくのか。

事務局：市民課においてテレビ中継を行っているが、必要に応じて拡充を検討したい。また、常任委員会の傍聴スペースの確保も必要であると考えている。議会の方でも、活性化委員会を開催して検討していくということであるので、結果を待ちたいと考えている。

委員：JWAY（ケーブルテレビ）の加入率も増加しており、議会を傍聴するだけでなく、茶の間で映像を見て、議員の活動を知ることができるような情報公開に努めることが大切である。

委員：つくば市の議場は、傍聴席のスロープが歩っていて怖かった。また、床が立派過ぎるのではないかと思う。議場も身近なものにする必要があるのではないか。

委員：議場もフラットなバリアフリーにして、市民に親しまれる場としてほしい。

会長：バリアフリーの観点から、傍聴席をフラットにしたり、また、議会をオープンな場としてほしいということではいか。

委員：防犯カメラと中央監視機能は、しっかりした施設が必要。特にサーバー室は、ICカードでは入れてしまうので、生体認証としてほしい。また、休日における施設内の区分をきちんと行い、人が侵入できないようにしてほしい。

委員：夜間の警備はどうするつもりか。

事務局：中央監視室による集中的な警備を検討している。

委員：つくば市のサーバー室は上の階にあったと思う。休日の安全性を確保してほしい。

委員：今の建物と全く違うものをつくることになる。日立市は、近隣の市町村より庁舎改築が遅れたが、逆に、これがメリットとなるような施設づくりが大切である。震災後の

新しい事例を参考にしてほしい。ここ数年で技術も進化しているので、デメリットをメリットにした新庁舎をつくってほしい。

会長：3つの機能について具体的な意見を伺った。参考として検討願いたい。次回の日程について事務局から説明願いたい。

事務局：今回は、7月6日の午後1時30分から予定している。

以 上